

〔 9 〕 西都市小体連

I 年間計画

実施日	曜	事業名	主な内容	会場
4月30日	火	第1回体育主任会	今年度研究主題決定 年間行事計画確認 泳力向上プログラムについて	妻南小学校
7月23日	火	第2回体育主任会	主題研究について	妻南小学校
11月12日	火	第3回体育主任会	主題研究について 各校の運動会の実施状況の情報 学体研の情報共有	妻南小学校
2月下旬		第4回体育主任会	来年度の計画	妻南小学校

II 事業部のあゆみ

1 西都市小学校泳力向上プログラム

各学校で5・6年生を対象に記録会を実施し、25m以上泳げた児童に対して西都市小体連が表彰。

2 各学校で実施。

体力テストで全体的に記録が低かったソフトボール投げの記録会を実施。体力テスト時との比較を行い、伸び率を確認した。県の標準記録達成者を県に報告を行った。

III 研究部のあゆみ

1 研究主題並びに副題

「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するとともに、継続するための資質・能力の基礎を育む体育科学学習」
～ 体育科学学習におけるひとりひとりに問いをもたせる活動を通して ～

2 主題設定の理由

小学校学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった教師の指導改善を行うことが示されている。

また、宮崎県では「ひなたの学び」として、「予測困難な未来を生きる子供たちには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく「生きる力」が求められている。そのため、学校においては、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善によって、子供たちの学びに向かう力を育てていく必要がある。」ことが示されている。このことより、「ひとりひとりが問いをもち、なかまとなって学び合い、たかめよう深く考える力」を育てていくことを推進していることが分かった。

このことから、本研究では、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、「ひなたの学び」の中にある「ひとりひとりが問いをもち」の部分に焦点化し、本研究の主題と副題を設定した。

3 研究の内容

「児童ひとりひとりが問いをもつ活動」の研究及び実践事例集作成（令和6～8年度・3年計画）

4 研究の実際 ○「児童ひとりひとりが問いをもつ活動」の授業研究の実践及び実践報告の作成

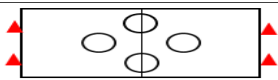

各学校の体育主任が主になって、「児童ひとりひとりが問いをもつ活動」の研究についての実践報告を作成した。今回の実践を西都市の全教員に報告した。


5 次年度の研究の見通し


「なぜ?」「どうして?」という考えを児童にもたせるために、活動のルールや技を習得するためにどうすればいいか考えさせることで体育科学学習におけるひとりひとりに問いをもたせる活動を行っていく。

単元名 てつぼうあそび		対象学年 2年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな鉄棒の技について、自分はなぜできないのか、友だちはどうしてできるのか考えさせる。 ・ お手本となる動画の試技を見て「できる、できない」のポイントを押さえ、どのような練習をすればよいかを考えさせる。 		
学習の単元計画		
1 時	2 時～3 時	4 時～6 時
【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 学習内容の確認 3 準備運動 4 学習の内容を知る。 ・安全や規則の確認 5 鉄棒あそびをする。 ・みんなで練習 (とび上がり、前まわり、こうもりじゃんけん、地球まわり、逆上がりなど) ・ペアで動画を撮り、見せ合う (ひとりひとりが問いをもち) 6 振り返りをする。 7 整列・挨拶 <div data-bbox="165 766 557 1003"> <p>さか上がり できるポイント ありかえりカード</p> <p>名前 ()</p> <p>① けり蹴球、てつぼうの 膝下か、まこし蹴！</p> <p>② かた足をふり上げ、球んたいの蹴球、しおんをける！</p> <p>③ ひし蹴、蹴け 両ひかき てつぼうに ひきつける！</p> <p>④ 蹴球、まよ！</p> <p>○～よくできた ○～そこそこできた △～あまりできなかった ×～できなかった</p> </div>	【朝の活動】 ・逆上がりの手本動画を見る。 ・振り返りカードを書く。 <div data-bbox="888 327 1023 432"> </div> 1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 鉄棒あそび1をする。 (だんごむし10秒、とび上がり、前まわり、こうもりじゃんけん、地球まわりなど) 4 逆上がりに挑戦する。 ・補助の道具や補助板を使ってみる ・ペアで動画を撮り、見せ合う (なかまとなって学び合い) 5 振り返りをする。 ・全体で今日の学習を振り返る。 6 整列・挨拶 7 教室で自分の動画を見ながら振り返りをする。 ・次時の練習方法について考える。 (ひとりひとりが問いをもち)	【朝の活動】 ・自分の逆上がりの動画を見る。 ・振り返りカードや手本動画を見て、練習の方法や順序を考える。 <div data-bbox="1262 448 1425 562"> </div> 1 集合・整列・挨拶 2 準備運動 3 鉄棒あそび1をする。 (だんごむし10秒、とび上がり、前まわり、逆上がりなど) 4 逆上がりの練習をする(個人で選択) ・補助の道具や補助板を使って ・道具は使わずに練習する (たかめよう深く考える力) 5 逆上がりに挑戦する。 ・ペアで動画を撮り合い、お互いにアドバイスをし合う。 (なかまとなって学び合い) 8 振り返りをする。 ・全体と個々の振り返りをする (ひとりひとりが問いをもち) (たかめよう深く考える力) 9 整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ マット運動や鉄棒、跳び箱運動などの学習では、ひとりひとり「できること、できないこと」にはっきりとした違いがある。個々になぜできないのか、どうすればできるようになるかという課題意識をもたせる。また、友だちや手本の動画などから課題解決のためのヒントを得させ、相互にアドバイスし合うような協同的な学びや練習方法を選択させるなどの個別最適な学びに取り組ませる。 		活動の写真 <div data-bbox="1147 1072 1415 1243"> </div>

単元名 タグラグビー (ゴール型ゲーム)		対象学年 3. 4年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の動画から課題を見つけ、児童の言葉で本時のめあてをたてるようにする。 ・ ロイロノートを活用し、児童の動きを実際に動かしながら示すことで、言葉だけでは理解が難しい児童も視覚的に理解し、問いがもてるようにする。 		
学習の単元計画		
1 時	2 時～7 時	8 時～9 時
【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 準備運動 3 学習内容の確認 4 タグラグビーのルールを知る。 (動画視聴) ・準備、片付け、安全 ・規則の確認 5 ベルトとタグの付け方を練習する。 6 振り返り 7 場の片付け・整列・挨拶	1 集合・整列・挨拶学習内容の確認 2 スキルアップゲーム 3 学習内容の確認 (ひとりひとりが問いをもち) ・前時の動画から課題を見つけ、めあてをたてる。 4 ゲーム(前半戦) 5 話し合い(作戦タイム) (なかまとなって学び合い) ・チームで作戦をたてる。 6 ゲーム(後半戦) 7 振り返り (たかめよう深く考える力) ・チームで話し合い実行した作戦を、全体で共有する。 ・チームごとに今日の学習を振り返る。 8 場の片付け・整列・挨拶	1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 スキルアップゲーム 3 学習内容の確認 (ひとりひとりが問いをもち) ・これまでの学習を振り返り、めあてをたてる。 4 ゲーム(リーグ戦) 5 話し合い(作戦タイム) (なかまとなって学び合い) ・チームで作戦をたてる。 6 ゲーム(リーグ戦) 7 振り返り (たかめよう深く考える力) ・友達の良さを認め合う。 ・チームごとに作戦の攻め方・守り方を振り返る。 8 場の片付け・整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の導入で、動画を視聴し、自分達の動きを客観的に見ることで、ボールを持っている時・持っていない時にどのように動けば良いかという問いをもたせ、その子ども達の問いからめあてをたてると良いと考える。また、ロイロノートで児童の動きを実際に動かしながら示すことで、言葉や動画だけでは理解が難しい児童も視覚的に理解し、問いをもつことができると考える。 		活動の写真 <div data-bbox="1147 1998 1430 2145"> </div>

単元名 ラインサッカー		対象学年 3・4年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを持っていないとき、どこに動けばパスがつながるか考えさせる。 ・ 攻撃の時のフリーマン（円の中だけで動ける人）の動きを考えさせる。 ・ 振り返りの際に、次の時間に気を付けることを考えさせる。 		
		
学習の単元計画		
1 時 【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 準備運動 3 学習内容の確認 ・準備、安全 ・学習のねらい ・学習の流れ ・チームの確認 ・ボールの感覚作り 4 ゲームをする ・ダイヤモンドパス ・パス&シュート ⇒ダイヤモンドパスからのシュート （ひとりひとりが問いをもち） 5 3分間にゴールした得点を記録する 6 振り返りをする 7 場の片付け 8 整列・挨拶	2 時～4 時 1 集合・整列・挨拶・準備運動 2 学習内容の確認・場の準備 3 パス&シュートの練習をする ・3分間にゴールした得点を記録する 4 ゲーム①をする（半面コート） 5 ゲーム①の振り返りをする （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする （なかまとなって学び合い） 6 ゲーム②をする（半面コート） （ゲーム①と同じチームと対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする ・チームごとに今日の学習を振り返る ・全体で今日の学習を振り返る ⇒次回、自分が気を付けることを確認 （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶	5 時～8 時 1 集合・整列・挨拶・準備運動 2 学習内容の確認・場の準備 3 パス&シュートの練習をする ・3分間にゴールした得点を記録する 4 ゲーム①をする（全面コート） 5 ゲーム①の振り返りをする （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする （なかまとなって学び合い） 6 ゲーム2をする（全面コート） （ゲーム①と違うチームと対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする ・友達の良さを認め合う ・ボールを受ける、繋ぐ、シュートするための動きをおさえる （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の人の動きを考えることが不十分だった為、自分がその動きをしたときにチームメイトはどう動けばよいかを考えさせたり、自分たちでルールを決めたりすると、問いにつながっていくのではないかと感じた。そのため、他チームの動きを観察・確認することや、ルールを考える時間を学習内容や学習計画に取り入れていくことの必要性があるだろう。 		活動の写真 

単元名 セストボール		対象学年 3年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを持っていないとき、どこに動けばパスがつながるか考えさせる。 ・ 攻撃と守備の時間を分け、相手の陣地をどうやって動いてシュートできるか考えさせる。 		
学習の単元計画		
1 時 【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 学習内容の確認 3 準備運動 4 学習の内容を知る。 ・準備、安全 ・規則の確認 ・ボールの感覚作り 5 ゲームをする。 試しのゲーム （ひとりひとりが問いをもち） 6 整理運動 7 振り返りをする。 8 場の片付け 9 整列・挨拶	2 時～4 時 1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備 4 ゲーム1をする。 5 振り返りをする。 （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする。 （なかまとなって学び合い） 6 ゲーム2をする。 （ゲーム①と同じチームと対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする。 ・チームごとに今日の学習を振り返る。 ・全体で今日の学習を振り返る。 （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶	5 時～7 時 1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備 4 ゲーム1をする。 5 振り返りをする。 （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする。 （なかまとなって学び合い） 6 ゲーム2をする。 （ゲーム①と違うチームと対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする。 ・友達の良さを認め合う。 ・作戦の攻め方・守り方を振り返る。 （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・その動きがなぜ必要か、その動きがあるとチームにとってどんなよさがあるか考えさせると、問いにつながっていくと感じた。そのため、「なぜ？」という意識を児童にもたせることを、学習内容や学習計画に取り入れていくことの必要性があるだろう。 		活動の写真 

単元名 体づくり運動		対象学年 5年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰一人取り残すことなく、みんなが楽しむ運動するためにどのようなルールにしたらよいか考える。 ・ 運動をすることで心の状態はどう変化するか記録して考える。 		
学習の単元計		
1 時 【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 学習内容の確認 3 準備運動 4 学習の内容を知る。 ・準備、安全 ・規則の確認 ・心と体の状態グラフを記入する。 5 体づくりの運動をする。 ・前半運動（フープ回し） ・リラクスタタイム（ペアストレッチ） ・後半運動（風船つなぎ） 6 振り返りをする。 （なかまとなって学び合い） ・チームごとに今日の学習を振り返る。 （たかめよう深く考える力） ・全体で今日の学習を振り返る。 7 場の片付け 8 整列・挨拶	2 時、3 時 1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備 4 めあてを確認する。 5 体づくりの運動をする。 ・前半運動（平均台） ・リラクスタタイム（ペアストレッチ） ・後半運動（長縄） 6 心と体の状態グラフ 7 振り返りをする。 （なかまとなって学び合い） ・チームごとに今日の学習を振り返る。 （たかめよう深く考える力） ・全体で今日の学習を振り返る。 8 場の片付け・整列・挨拶	4 時 1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備 4 めあてを確認する。 5 体づくりの運動をする。 ・前半運動（既習の運動から1つ選択） ・リラクスタタイム（ペアストレッチ） （ひとりひとりが問いをもち） ・後半運動でどんな運動にしたらよいか前半運動の動画を見る。 （なかまとなって学び） ・みんなが楽しめる場の設定やルールを話し合う。 6 後半運動を行う。 7 整理運動 8 振り返りをする。 （たかめよう深く考える力） ・友達の良さを認め合う。 9 場の片付け・整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・長縄を使った運動では、苦手な児童も楽しめるように回す速さを話し合っていたり、短縄を跳びながら長縄を行うように難易度や道具を変えるなどして、運動のバリエーションを班員と話し合いながら楽しんでいた。また、保健との関連で、運動した後のすっきりした心の状態をグラフで可視化することで、生涯を通してスポーツに親しむ態度を育てる授業になった。 		活動の写真 

単元名 ゴールボール		対象学年 6年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 自分の動きと仲間の動き（位置）をどうすれば得点を取ったり防いだりできるか考えさせる。 タブレットでゲームを撮影しておき、振り返りの際に、自分たちの動き（位置）が確認できるようにして次の動き（作戦）に生かせるようにする。 		
学習の単元計画		
1時	2時	3～5時
【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 学習内容の確認 3 準備運動 4 学習の内容を知る。 ・準備、安全（アイマスク装着時の注意点） ・規則の確認 5 攻撃・守備の仕方の確認をする。 チーム内でのミニゲームをする。 （ひとりひとりが問いをもち） 6 整理運動 7 振り返りをする。 8 場の片付け 9 整列・挨拶	1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備 4 試しのゲーム1をする。 5 振り返りをする。 （ひとりひとりが問いをもち） ・ゲームを進行する上での疑問点を出し合う。 （なかまとなって学び合い） 6 試しのゲーム2をする。 （チームの組み合わせを変えて対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする。 ・チームごとに今日の学習を振り返る。 ・全体で今日の学習を振り返る。 （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶	1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動 3 場の準備（リーグ戦の準備） 4 ゲーム1をする。 5 振り返りをする。 （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする。 （なかまとなって学び合い） 6 ゲーム2をする。 （ゲーム1と違うチームと対戦） 7 整理運動 8 振り返りをする。 ・友達の良さを認め合う。 ・作戦の攻め方・守り方を振り返る。 （次回の意識するポイント等） （たかめよう深く考える力） 9 場の片付け・整列・挨拶
学習をふり返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 「ゲームに勝てた」や「点が取れた」、「点を取られた」などの結果に児童は着目しがちだが、その前に「なぜ」そうできた（なった）かを考えるよう指導をすることでより深い振り返りができたり次回への意識するポイントが明確になったりした。 教材の性質上、自己の動きが自身では全くわからないため、他の単元時よりも自己とチームの動きを撮った動画を注意深く観察させることにつながった。また、自身の感覚と実際の動きのズレに驚き、動きや位置の修正に対する話題が児童から多く挙がった。 		活動の写真 

単元名 （短距離走）リレー		対象学年 6年
ひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 個人の記録4人分よりもリレーの記録の方が速いことを伝え、その理由を考えさせる。 バトンパスをどのフォームで行うと、バトンパスしやすいか考えさせる。 前の人はどこに来たらスタートするか考えさせる。 タブレットでの撮影をし、自分たちのバトンパスの仕方がよいか考えさせる。 		
学習の単元計画		
1時	2時	3時
【オリエンテーション】 1 集合・整列・挨拶 2 学習内容の確認 3 準備運動・ウォーミングアップ 4 学習の内容を知る。 ・準備、安全 ・テイクオーバーゾーンの確認 ・バトンパスの基本の確認 5 記録を計る。 6 バトンパスの方法を考える。 ・有利になるバトンパスのフォームを考える。 （ひとりひとりが問いをもち） 7 記録を計る。 8 振り返りをする。 9 片付け・整列・整理運動・挨拶	1 集合・整列・挨拶・学習内容の確認 2 準備運動・ウォーミングアップ（スタート・コーナー走） 3 助走距離について考える。 ・タブレットで撮影し、動画を確認しながら、よりよい助走距離について考える。 （ひとりひとりが問いをもち） ・よりよい助走・フォームで走っている教材動画を確認する。 4 情報を共有する。 5 バトンパスの練習をする。 （なかまとなって学び合い） 6 記録を計る。 7 振り返りをする。 ・チームごとに今日の学習を振り返る。 ・全体で今日の学習を振り返る。 （たかめよう深く考える力） 8 片付け・整列・整理運動・挨拶	1 集合・整列・挨拶 2 準備運動・ウォーミングアップ 3 学習内容の確認 ・フォーム ・助走距離 ・走順 4 バトンパスの練習をする。 5 記録を計る。（競走） 6 振り返りをして、練習する。 （ひとりひとりが問いをもち） ・チームで作戦の確認をする。 （なかまとなって学び合い） 7 記録を計る（競走） 8 振り返りをする。 ・友達の良さを認め合う。 ・フォーム・助走距離について振り返る。 （たかめよう深く考える力） 9 片付け・整列・整理運動・挨拶
学習を振り返って、次年度に向けたひとりひとりが問いをもつための学習活動の工夫 <ul style="list-style-type: none"> 自分たちで動画を撮影し確認することで、パスしやすいフォームや助走距離について改善していこうとする姿が見られた。よりよい動きのポイントを考えたり話し合ったりする場面、自分の動きを確認する場面の設定が必要と考える。 		活動の写真 